

さすけねえわ(輪)の健康づくり応援隊

5月17日、健康づくり協力員・食生活改善推進員・健康運動推進員の合同委嘱状交付式および研修会が野沢体育館で開催され、委嘱状交付式では延べ186人が委嘱を受けました。

その後の研修会では、一般社団法人地域包括ケア研究所の奥知久医師と大曾根衛さんが「さすけねえわ(輪)の健康づくり応援隊」という演題で講演会を行いました。



講演会「さすけねえわ(輪)の健康づくり応援隊」より

奥 知久医師

医師として難病患者との関わりや震災復興支援の体験から「つながり」の大切さが見えてきました。また、今回の講演会の主人公は、講師である自分ではなく、「来てくれた皆さん」です。自分自身と身近な人が、普段やっていることが健康に対してどんなプラスの影響があるのかを考えてみると新たな「つながり」が生まれていきます。

大曾根 衛さん

健康増進計画策定委員とともに「からだ・こころ・つながり」の3つの健康による「さすけねえわ(輪)」の健康づくりを進めてきました。健康増進計画推進委員13名の任期が終了したことに伴い、今後は「さすけねえわ(輪)アンバサダー」として自分自身と身近な人の健康づくりを応援し、さすけねえわ(輪)の取り組みを広げる役割を担っていただきたいです。

まだまだ広がる

「さすけねえわ(輪)応援隊」

講演会の参加者からは「日頃から行っているストレッチやかかと落としの運動が、生きがいのある生活につながっている」「野菜作りを通して体を動かし、近所の人や若い世代の人との交流にもなっている」などの声がありました。日々の習慣や活動が「からだ・こころ・つながり」になっていることや「さすけねえわ(輪)」を広めていくことが大切であると再確認するきっかけになったようです。そして参加者の皆さんには、身近な人や地域の人の健康づくりを応援し、さすけねえわ(輪)を広めてもらう「さすけねえわ(輪)応援隊」になってもらいました。



健康増進課では、今後も「さすけねえわ(輪)」の健康づくりを推進し、応援隊として「さすけねえわ(輪)」を広めていただける方を増やしていきたいと思います。



健康増進課 健康支援係
多賀 涼子 保健師

すごいな！むし歯のない子



目黒 なつなちゃん
(牛尾)



岩原 のどかちゃん
(さゆりが丘)



大石 うたくん
(森野)



石川 さあやちゃん
(4町内)



阿部 えまちゃん
(1町内)

5月18日、3歳児7人を対象に健康診査を行った結果、5人にむし歯がありませんでした。